

科 目 名
教 養 講 座 Cultural Program

2年 後期 1単位 選択

井 芹 浩 文
井 上 薫

概 要

本学の建学精神は「体・徳・智」と表されている。健全な肉体に健全な精神が宿る。そのうえに健全な知識を身につける必要がある。この「智」を肉付けするのが教養（Culture）である。教養とは単なる学殖・多識とは異なり、一定の文化理念を体得し、それによって個人が身に付けた創造的な理解力や知識のことである。

本講座は、人間としての教養を身に付けることは豊かな人生を送るために極めて重要であるということで昭和53年から開講されている。毎年、著名な識者を講師として学外から招き、毎週金曜日に実施している。講師は多種多様な分野から選ばれており、これら先生方の講話を通じて幅広い教養と広い視野を養い、ひいては人間性豊かな人材に育ててほしいという願いを込めて開講している。

学習目標

- 科学技術系・人文社会系などの分野を問わず幅広い視野を身に付ける。
- 人の話を聞くマナーを学ぶ。
- メモを取る習慣を身に付ける。必要な情報を選択し、記録する能力を養う。
- 講話への感想を書いてレポートとして毎回提出することによって表現力を養う。
- 講師の厳しい体験談をじっくり聞き、困難に正面から受け止める気概を培う。
- 講師の多様な話を聞いて、自分なりの判断力を身に付ける。
- 現代社会の抱える諸問題に目を開いてほしい。

授業計画

後期に14回実施する。講演プログラムは9月初めに決定し、教務課の掲示板に掲示する。第1回の授業でオリエンテーションを行い、概要の説明をする。

評価方法

毎回提出されたレポートおよび出席状況を総合的に評定する。